

事例 25 「日本美しい森 お薦め国有林」における訪日外国人の利用も想定した施設の修繕

(四国森林管理局 安芸森林管理署)



- ・高知県安芸郡(あきぐん)馬路村(うまじむら) 千本山(せんぼんやま)国有林
- ・(左)二次元コードを表示した案内標識(右)改修後のトイレ

四国森林管理局には5か所の「日本美しい森 お薦め国有林」があり、これまでウェブサイトによる情報発信や施設整備等の環境整備に取り組んできました。

5か所のうち安芸森林管理署管内にある千本山風景林は、高知県東部の奈半利川上流に位置し、樹齢200年を超える魚梁瀬スギの美林が特徴となっており、ハイキングやバードウォッチングや水遊び等を楽しむことができます。

千本山風景林には毎年多くの利用者が訪れていますが、アフターコロナの訪日外国人の利用も想定して、案内標識に二次元コードを表示し、これを読み取ることにより、英語等に翻訳された情報を得られるようにしました。このほか、登山道入口に設置している施設(トイレ)が老朽化して利用者から敬遠されがちであったことや地元自治体からの要望を踏まえ、トイレの洋式化及び外壁の塗装等の修繕を実施し、より快適に利用できるよう整備しました。

引き続き、同局では、管内の「日本美しい森 お薦め国有林」において、景観にも配慮した修景伐採や遊歩道の整備等を始め、訪日外国人の利用を見据えた統一基準による多言語看板の設置にも取り組むこととしています。